

令和2年度(2020年度)用

小学校国語科用

---

---

# 「新しい国語」 年間指導計画作成資料 【2年】

---

---

令和2年(2020年)7月16日版

※単元ごとの配当時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

## 「新しい国語」(第2学年)年間指導計画

### ■「評価の観点及びその趣旨」,「学年別の評価の観点の趣旨」の作成について

単元の指導計画・評価計画の作成に当たっては、各学校の実態に応じて目標に準拠した評価を行うために、学習指導要領に示された教科の目標を踏まえた「評価の観点及びその趣旨」と、学年の目標を踏まえた「学年別の観点の趣旨」を作成します。

なお「主体的に学習に取り組む態度」の観点は、教科および学年の目標の(3)のうち、観点別学習状況の評価を通じて見取る部分その内容として整理し、作成します。

### 小学校国語科の目標と「評価の観点及びその趣旨」

#### 小学校学習指導要領 第2章 第1節 国語 「第1 目標」

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)	(2)	(3)
日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。	言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

#### 評価の観点及びその趣旨 <小学校 国語>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、言語感覚を養い、言葉をよりよく使おうとしている。

### 第1学年及び第2学年の目標と「評価の観点の趣旨」

#### 小学校学習指導要領 第2章 第1節 国語「第2 各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕 1 目標」

(1)	(2)	(3)
日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。	言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

#### 評価の観点の趣旨 <小学校 国語>第1学年及び第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもっている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをもったりしながら、言葉がもつよさを感じようとしているとともに、楽しんで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。

■評価規準

【知・技】…「知識・技能」の観点および学習指導要領との対応

【思・判・表】…「思考・判断・表現」の観点および学習指導要領との対応

【主】…「主体的に学習に取り組む態度」の観点

※◎は、重点指導事項に対応する評価規準を示す。

※学習指導要領との対応に示した記号は以下の通り。（「◇言語活動」においても同様）

〔知識及び技能〕(1)…言葉の特徴や使い方に関する事項 (2)…情報の扱い方に関する事項 (3)…我が国の言語文化に関する事項

〔思考力・表現力・判断力等〕A…話すこと・聞くこと B…書くこと C…読むこと

単元の指導計画・評価計画面

2年				
月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
4	すきなこと、なあと  2時間(話聞2) 教科書:上巻 P.10～11	●互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて、話をつなぐことができる。 ◇対話をする。A(2)イ  ----- 1 対話によって友達の好きなことを詳しく知ることを知り、学習の見通しを持つ。 2 教科書の対話例を読んだり、教師と代表の児童との対話を聞いたりして、話をつなぐ工夫について話し合う。 3 見つけた工夫を生かし、ペアで互いの好きなことについて対話をする。 4 対話をするときの話をつなぐ工夫について、学習したことを振り返る。	【知・技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(1)ア  【思・判・表】 ◎「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。A(1)オ  【主】 ・これまでに学習したことや友達と対話した経験を振り返って学習課題を明確にし、進んで互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなげながら、学習課題に沿って対話をしようとしている。	
4	いくつあつめられるかな  2時間(書2) 教科書:上巻 P.12～13	●経験したことの中から友達に伝えたい出来事をメモに書き出して集め、伝えたいことを明確にすることができる。 ◇伝えたい出来事をメモに書き出して集める。  ----- 1 教科書を読み、学習の見通しを持つ。 2 日常の体験の中から「がんばったこと」を想起し、メモに書き出す。 3 書き出したメモをグループで見せ合い、感想などを伝え合う。 4 2とは別の観点で、伝えたい出来事をメモに書き出し、グループで見せ合って感想などを伝え合う。 5 今後の学習にメモを生かしていくことを確認する。	【知・技】 ・身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っている。(1)オ  【思・判・表】 ◎「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア  【主】 ・これまでに学習したことやメモを用いた学習経験を振り返って学習課題を明確にし、進んで友達に伝えたい出来事を明確にして、学習課題に沿って、友達に伝えたい出来事をメモに書き出し集めようとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
4	<p>お話を音読しよう 風のゆうびんやさん ・こくごのノートのつくりかた</p> <p>10時間(読8書2) 教科書:上巻 P.15～27</p> <p>【言葉の力】 お話を音読する</p>	<p>●物語の内容の大体を捉え、人物の声を具体的に想像して、物語を音読することができる。 ◇物語を音読する。C(2)イ</p> <hr/> <p><b>つかむ</b></p> <p>1 人物の様子を思い浮かべながら声に出して読むという学習課題を確かめ、「風のゆうびんやさん」を読んで初発の感想を交流する。</p> <p><b>取り組む</b></p> <p>2 場面ごとに、手紙の内容や登場人物の様子を捉える。 3 捉えたことをもとに、人物の声を思い浮かべて音読する。</p> <p><b>振り返る</b></p> <p>4 グループごとに音読の発表を聞き合い、単元の学習を振り返って身に付けた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク</p> <p>【思・判・表】 ◎「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。C(1)イ ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。C(1)エ ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ</p> <p>【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、これまでの学習を生かして、積極的に物語の内容の大体を捉え、人物の声を具体的に想像して、物語を音読しようとしている。</p>	
4	<p>としょかんへ行こう</p> <p>2時間(知技2) 教科書:上巻 P.28～31</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 学校の図書館がどのような場所なのかを理解する。(1上「としょかんはどこなところ」)</p>	<p>●図書館の利用の仕方や、置かれている本について理解することができる。</p> <hr/> <p>1 図書館の利用の仕方や図書館に置かれている本について確かめるという学習の見通しを持つ。 2 図書館のどの場所にどのような本が置かれているかを確かめる。 3 学んだことを使って図書館で本を探す。</p>	<p>【知・技】 ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている(3)エ</p> <p>【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、積極的に図書館の利用の仕方や、置かれている本について理解しようとしている。</p>	<p>・生活の中の読書に生かす。 ・生活科で調べる学習をする際に、図書館の本で調べることに生かす。</p>
4	<p>かん字の書き方</p> <p>3時間(知技3) 教科書:上巻 P.32～33</p>	<p>●漢字の筆順と画数について理解することができる。</p> <hr/> <p>1 漢字の筆順と画数について学習することを知り、学習の見通しを持つ。 2 教科書を読んで筆順について知り、既習の漢字の筆順を確かめる。 3 教科書を読んで画と画数について知り、練習題に取り組む。 4 正しい筆順と画数で漢字を書く練習をする。 5 学習を振り返り、筆順と画数に気をつけて漢字を書いていくことを確認する。</p>	<p>【知・技】 ◎前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(1)エ</p> <p>【主】 ・進んで漢字の筆順と画数について理解し、今までの学習を生かして漢字を書こうとしている。</p>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
4	たんぼぼのひみつを見つけよう たんぼぼ  10時間(読8書2) 教科書:上巻 P.35～43  【言葉の力】 せつめいのじゅんじょ  ----- <b>既習事項との関連</b> 何について説明しているのかを考えながら説明文を読む。(1下「いろいろなふね」)	●順序を考えながら文章の内容の大体を捉え、文章を読んで分かったことや考えたことを伝え合うことができる。 ◇文章を読んで分かったことや考えたことを伝え合う。C(2)ア  <b>つかむ</b> 1 実際のたんぼぼを見たり、教科書の写真を手がかりにしたりして、たんぼぼについて知っていることを出し合い、学習課題を明確にし、学習の見直しを持つ。 <b>取り組む</b> 2 繰り返し出てくる言葉に注意しながら「たんぼぼ」を読み、「たんぼぼのひみつ」を見つける。 3 たんぼぼの仲間の増やし方についてまとめる。 4 見つけた「たんぼぼのひみつ」の中からいちばん伝えたい「ひみつ」を選び、文章にまとめて交流する。 <b>振り返る</b> 5 どのような点に気をつけて、書かれていることの順序を捉えたかを振り返り、身に付けた「言葉の力」を確かめる。	【知・技】 ・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア <b>【思・判・表】</b> ◎「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。C(1)ア ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想を持っている。C(1)オ ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ <b>【主】</b> ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、進んで順序を考えながら文章の内容の大体を捉え、学習課題に沿って、文章を読んで分かったことや考えたことを伝え合おうとしている。	・生活科で、「野菜の育て方」や「観察したこと」などを説明するときに生かす。
5	こんなことをしているよ ・丸(。)、点(。)、かぎ(「」)  8時間(書8) 教科書:上巻 P.44～49  【言葉の力】 組み立てを考えて書く  ----- <b>既習事項との関連</b> 学校でしたことを家の人に伝える文章を書く。(1上「こんなことしたよ」)	●経験したことを分かりやすく伝えるために、簡単な構成を考えて、経験したことを伝える文章を書くことができる。 ◇経験したことを伝える文章を書く。B(2)ア  <b>つかむ</b> 1 これまでの学習や生活経験を想起し、構成を考えて経験したことを伝える文章を書くという学習課題を明確にし、学習の見直しを持つ。 <b>取り組む</b> 2 家でしていることの様子を思い出し、友達に伝えたい事柄を考えてメモやカードに書き出す。 3 教科書 P46 の例文を読み、どのような組み立てで書けばよいか話し合う。 4 メモやカードをもとに文章を書く。 <b>振り返る</b> 5 友達と互いの文章のよいところを伝え合うなどして単元の学習を振り返り、身に付けた「言葉の力」を確かめる。	【知・技】 ・長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。(1)ウ <b>【思・判・表】</b> ・「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア ◎「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。B(1)イ ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。B(1)オ <b>【主】</b> ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、進んで事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、学習課題に沿って、家でしていることを友達に伝える文章を書こうとしている。	・生活科での「町たんけん」の学習や学校行事の後の振り返りの作文など、体験したことから書くことを選ぶときに生かす。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
5	外国の小学校について 聞こう  4時間(話聞4) 教科書:上巻 P.50～54  <b>【言葉の力】</b> 聞きたいことをおとさずに聞く	<b>●自分が聞きたいことを落とさないように集中して話を聞き、聞いたことと自分が知っていることとの共通点や相違点に着目して、感想を持つことができる。</b> <b>◇紹介を聞いて、感想を述べる。A(2)ア</b>  <b>つかむ</b> 1 外国の小学校について聞き、自分たちの小学校と比べて感想を話すという学習の見通しを持つ。 <b>取り組む</b> 2 イタリアの小学校についての話を聞き、自分たちの小学校との共通点や相違点に着目して感想を持つ。 3 カンボジアの小学校についての話を聞き、自分たちの小学校との共通点や相違点に着目して感想を持つ。 <b>振り返る</b> 4 話を聞くときに気を付けたことや気付いたことを話し合い、単元の学習を振り返り、身に付けた「言葉の力」を確かめる。	<b>【知・技】</b> ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア <b>【思・判・表】</b> ◎「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。A(1)エ <b>【主】</b> ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、粘り強く話し手の話を集中して聞き、学習課題に沿って、外国の小学校の紹介を聞いて感想を述べようとしている。	・生活科において、町で働く人々にインタビューする活動や、自分自身の成長を振り返るためにお世話になった方々の話を聞く活動に生かす。 ・実生活において、活動の予定や準備物を聞き取るなどなどに生かす。
5	声やうごきであらわそう 名前を見てちょうだい  12時間(読10書2) 教科書:上巻 P.55～71  <b>【言葉の力】</b> 場めんを分ける	<b>●物語の内容の大体を捉え、人物の行動を具体的に想像して、物語を音読や動作で表すことができる。</b> <b>◇物語を音読したり動作で表したりする。C(2)イ</b>  <b>つかむ</b> 1 教科書 P.55 の題名や挿絵から物語について想像を広げ、学習課題を明確にし、学習の見通しを持つ。 <b>取り組む</b> 2 「名前を見てちょうだい」を読み、場面ごとに登場人物の様子を確かめる。 3 確かめたことをもとに、登場人物の様子を音読や動作で表現する。 <b>振り返る</b> 4 どんなことに気を付けて音読や動作で表現したかを確かめるとともに、単元の学習を振り返り、身に付けた「言葉の力」を確かめる。	<b>【知・技】</b> ・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク <b>【思・判・表】</b> ◎「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。C(1)イ ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。C(1)エ ・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア <b>【主】</b> ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、これまでの学習を生かして物語の内容の大体を捉え、人物の行動を具体的に想像して、物語を音読や動作で表そうとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
6	<p>かんさつしたことを書こう</p> <p>6時間(書6) 教科書:上巻 P.72～75</p> <p>【言葉の力】 かんさつして書く</p> <p>-----</p> <p><b>既習事項との関連</b></p> <p>色,形,大きさ,動きなどをよく見て,気づいたことを書く。(1下「はっけんしたよ」)</p>	<p>●身の回りの植物の様子を観察して気付いたことをメモに集め,観察して気付いたことを記録する文章を書くことができる。 ◇観察したことを記録する文章を書く。B(2)ア</p> <p>-----</p> <p><b>つかむ</b></p> <p>1 生活科の学習と関連させながら,観察して気付いたことを記録する文章を書いて,友達や家の人に伝えるという学習課題を明確にし,学習の見通しを持つ。</p> <p><b>取り組む</b></p> <p>2 友達や家の人に伝えたいことや,観察の観点について交流する。</p> <p>3 植物を観察し,気付いたことをメモに書く。</p> <p>4 メモをもとに「かんさつカード」を書く。</p> <p><b>振り返る</b></p> <p>5 「かんさつカード」を友達と読み合っそれぞれの記事のよいところを見つけ,単元の学習を振り返って,身に付けた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・長音,拗音,促音,撥音などの表記,助詞の「は」「へ」及び「を」の使い方,句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。(1)ウ</p> <p>【思・判・表】</p> <p>◎「書くこと」において,経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ,必要な事柄を集めたり確かめたりして,伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>・「書くこと」において,語と語や文と文との続き方に注意しながら,内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ</p> <p>【主】</p> <p>・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし,進んで植物を観察して気付いたことをメモに集め,学習課題に沿って,観察して気付いたことを記録する文章を書こうとしている。</p>	<p>・生活科で動植物を観察して記録するときを生かす。</p> <p>・「身近な地域」へ探検に行った際の学習を生かす。</p>
6	<p>かたかなで書くことば</p> <p>3時間(知技3) 教科書:上巻 P.76～77</p> <p>-----</p> <p><b>既習事項との関連</b></p> <p>形に気をつけてかたかなの言葉を書く。(1下「かたかなのかたち」)</p>	<p>●片仮名で書く言葉について理解し,文や文章の中で正しく使うことができる。</p> <p>-----</p> <p>1 片仮名で書く言葉について学習することを確かめ,片仮名の言葉を集めて三つの種類に分ける。</p> <p>2 片仮名で書く言葉の種類について理解し,片仮名を正しく書く練習をする。</p> <p>3 片仮名で書く言葉を集め,集めた言葉で短文を作る。</p> <p>4 書いた短文を交流し,学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】</p> <p>◎片仮名で書く語の種類を知り,文や文章の中で使っている。(1)ウ</p> <p>【主】</p> <p>・進んで片仮名で表記する言葉にはどのようなものがあるかを理解し,今までの学習を生かして,片仮名で書く語を文や文章の中で使おうとしている。</p>	
6	<p>ことばで絵をつたえよう</p> <p>5時間(話聞5) 教科書:上巻 P.78～81</p> <p>【言葉の力】 じゅんじょに気をつけてせつめいする</p>	<p>●相手に伝わるように,話す事柄の順序を考え,絵の描き方を説明することができる。 ◇絵の描き方を説明する。A(2)ア</p> <p>-----</p> <p><b>つかむ</b></p> <p>1 これまでの学習を振り返るとともに,話す事柄の順序を考えて絵の描き方を説明するという学習課題を明確にし,学習の見通しを持つ。</p> <p><b>取り組む</b></p> <p>2 教科書P.79「石川さんのせつめい」を聞いて,言葉で絵を説明するときに気をつけることについて考える。</p> <p>3 説明する絵を決めて,説明の仕方を考える。</p> <p>4 絵の描き方を説明したり,説明を聞いて絵を描いたりする。</p> <p>5 互いの説明の分かりやすかった点や迷った点を伝え合い,説明の仕方を修正していく。</p> <p><b>振り返る</b></p> <p>6 相手に分かりやすく説明するときに気を付けたことを確かめ,単元の学習を振り返り,身に付けた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思・判・表】</p> <p>◎「話すこと・聞くこと」において,相手に伝わるように,行動したことや経験したことに基づいて,話す事柄の順序を考えている。A(1)イ</p> <p>【主】</p> <p>・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし,進んで相手に伝わるように話す事柄の順序を考え,学習課題に沿って,絵の描き方を説明しようとしている。</p>	<p>・遊び方などを一年生に教えるときに生かす。</p> <p>・実生活において,見たり聞いたりしたことや体験したことを他者に伝える際に生かす。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
6	<p>文しょうのちがいを考えよう サツマイモのそだて方</p> <p>12時間(読10 書2) 教科書:上巻 P.83～95</p> <p>【言葉の力】 せつめいのちがいを</p> <hr/> <p><b>既習事項との関連</b> 説明の順序に気をつけて読む。(2上「たんぼぼ」)</p>	<p>●二つの文章に書かれている事柄や説明の中で重要な語や文などを考え、読み比べて分かったことや考えたことを伝え合うことができる。</p> <p>◇二つの文章を読み比べて、分かったことや考えたことを伝え合う。C(2)ア</p> <hr/> <p><b>つかむ</b></p> <p>1 教科書の二つの文章を読み比べて、文章の違いを考えると学習課題を確かめ、学習の見通しを持つ。</p> <p><b>取り組む</b></p> <p>2 サツマイモの育て方について書かれた二つの文章を読む。</p> <p>3 二つの文章を読み、説明されている事柄や順序、説明の仕方などの共通点や相違点を見つけ、説明の仕方の違いを考える。</p> <p><b>振り返る</b></p> <p>4 二つの文章の説明の仕方の違いを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</li> </ul> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。C(1)ア</li> <li>◎「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。C(1)ウ</li> <li>・「書くこと」において、自分の考えをまとめるときに、語と語や文と文との続き方に気を付けて書いている。B(1)ウ</li> </ul> <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、進んで二つの文章に書かれている事柄や説明の中で重要な語や文などを考え、学習課題に沿って、二つの文章を読み比べて分かったことや考えたことを伝え合おうとしている。</li> </ul>	<p>・生活科の学習などで、図鑑や本を読んで花や野菜について調べる際に生かす。</p>
7	<p>言いつたえられているお話を知ろう</p> <p>6時間(読6) 教科書:上巻 P.96～99</p> <hr/> <p><b>既習事項との関連</b> 昔話を楽しむ。(1下「むかしばなしをたのしもう」)</p>	<p>●神話や伝承の読み聞かせを聞き、内容や感想などを伝え合ったり演じたりして、感じたことや分かったことを共有することができる。</p> <p>◇神話や伝承の読み聞かせを聞き、内容や感想などを伝え合ったり演じたりする。C(2)イ</p> <hr/> <p>1 神話や伝承を読んだり聞いたりして、内容や感想を伝え合うという単元の学習課題を明確にし、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 「だいらぼうのお話」や地域伝承の読み聞かせを聞き、感想などを話し合う。</p> <p>3 「やまたのおろちのお話」や「いなばの白うさぎのお話」の読み聞かせを聞き、感想などを話し合う。</p> <p>4 神話や伝承などの本を読み、気に入った話を選んで、ペアやグループで読み聞かせや紹介をし合う。</p> <p>5 単元の学習を通してつけた力を振り返る。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。(3)ア</li> </ul> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。C(1)カ</li> </ul> <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習課題に沿って、神話や伝承の読み聞かせを聞き、内容や感想などを伝え合ったり演じたりして、感じたことや分かったことを進んで共有しようとしている。</li> </ul>	
7	<p>本は友だち</p> <p>4時間(知技4) 教科書:上巻 P.100～107</p>	<p>●読書に興味を持ち、楽しんで本を選んだり読んだりすることができる。</p> <hr/> <p>1 読みたい本を探して読むという単元の学習課題を確かめ、読書体験文の読み聞かせを聞く。</p> <p>2 「二年生の本だな」や、P106・107で紹介している本などを手がかりにして、読みたい本を探して読み、読書記録をつける。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ</li> </ul> <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで読書に親しみ、学習課題に沿って、楽しんで本を選んだり読んだりしようとしている。</li> </ul>	<p>・生活の中の読書に生かす。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
9	<p>しを読もう</p> <p>いろんなおとのあめ 空にぐうんと手をのばせ</p> <p>3時間(読3)</p> <p>教科書:上巻 P.110～113</p> <hr/> <p><b>既習事項との関連</b></p> <p>語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読する。(1下「みみずのたいそう」)</p>	<p>●詩を音読し、詩に描かれていることを具体的に想像しながら言葉の響きやリズムを楽しむことができる。</p> <p>◇詩を音読する。C(2)イ</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 詩を音読して言葉の響きやリズムを楽しむという学習課題を明確にし、学習の見通しを持つ。</li> <li>2 二編の詩を音読し、詩の中からおもしろいと思った言葉を発表する。</li> <li>3 雨の音の違いを想像しながら、「いろんなおとのあめ」を音読する。</li> <li>4 場面の様子を想像し、感じたことを動作化しながら、「空にぐうんと手をのばせ」を音読する。</li> <li>5 単元の学習を振り返る。</li> </ol>	<p><b>【知・技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の響き、リズムなどに気を付けて音読している。(1)ク</li> </ul> <p><b>【思・判・表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。C(1)イ</li> <li>◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。C(1)エ</li> </ul> <p><b>【主】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、進んで詩に描かれていることを具体的に想像しながら言葉の響きやリズムを楽しみ、学習課題に沿って、詩を音読しようとしている。</li> </ul>	
9	<p>はんたいのいみのことば</p> <p>2時間(知技2)</p> <p>教科書:上巻 P.114～115</p> <hr/> <p><b>既習事項との関連</b></p> <p>仲間になる言葉や、それらをまとめて呼ぶ言葉について理解する。(1下「まとめてよぶことば」)</p>	<p>●対義語に関心を持ち、言葉を集めたり分類したりすることができる。</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教科書を読んで、反対の意味を表す言葉について理解する。</li> <li>2 教科書の練習題を行ったり、身の回りから反対の意味を表す言葉を集めて短文を作ったりする。</li> <li>3 反対の意味の言葉について理解したことを確かめ、学習を振り返る。</li> </ol>	<p><b>【知・技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。(1)オ</li> </ul> <p><b>【主】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで対義語について理解し、学習課題に沿って、言葉を集めたり分類したりしようとしている。</li> </ul>	
9	<p>うれしくなることばをあつめよう</p> <p>8時間(話聞8)</p> <p>教科書:上巻 P.116～124</p> <p><b>【言葉の力】</b></p> <p>ことばをつないで話し合う</p>	<p>●互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぎながら、尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合うことができる。</p> <p>◇少人数で話し合う。A(2)イ</p> <hr/> <p><b>つかむ</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 周りの人に言葉をかけられてうれしくなった経験を振り返るとともに、学習課題を明確にし、学習の見通しを持つ。</li> </ol> <p><b>取り組む</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2 教科書 P.117 の例を参考に、学級全体でうれしかった言葉について話し合う。</li> <li>3 学級全体での話し合いを振り返り、どのようにして話をつなぐとよいかを考える。</li> <li>4 考えたことに気をつけながら3人グループでうれしかった言葉について話し合う。</li> </ol> <p><b>振り返る</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5 グループで話し合ったことを発表して、集まった「うれしくなることば」をクラス全体で確認し、単元の学習を振り返って、身に付けた「言葉の力」を確かめる。</li> </ol>	<p><b>【知・技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(1)ア</li> </ul> <p><b>【思・判・表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。A(1)オ</li> </ul> <p><b>【主】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、進んで互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぎながら、学習課題に沿って、少人数で話し合うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科の「町たんけん」で見つけたことについて話し合うときに生かす。</li> <li>・特別活動や他教科におけるグループ学習など、話し合いによってグループや学級で考えをまとめる際に生かす。</li> </ul>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
9	<p>気持ちを音読であらわそう ニャーゴ</p> <p>12時間(読10書2) 教科書:上巻 P.125～137</p> <p>【言葉の力】 そうぞうを広げて読む</p> <p>-----</p> <p><b>既習事項との関連</b> 人物の行動を想像して音読や動作で表す。(2上「名前を見てちょうだい」)</p>	<p>●人物の行動や気持ちを具体的に想像し、想像したことを音読で表すことができる。 ◇物語を音読する。C(2)イ</p> <p>-----</p> <p><b>つかむ</b> 1 教科書 P.125 の題名や挿絵から物語について想像を広げるとともに、学習課題を明確にし、学習の見通しを持つ。</p> <p><b>取り組む</b> 2 「ニャーゴ」を読み、物語の中で起こった出来事を場面ごとに確かめる。 3 場面ごとに人物の気持ちを想像する。 4 グループに分かれて役割を決め、想像したことを音読で表す。</p> <p><b>振り返る</b> 5 人物のどのような気持ちをどのような声で表したか確かめ、単元の学習を振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。C(1)イ ◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。C(1)エ ・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、物語の内容の大体を捉え、人物の行動や気持ちを具体的に想像し、想像したことを音読で表そうとしている。</p>	・日常的な読書の際に生かす。
9	<p>にたいみのことば ・ことばあつめ</p> <p>3時間(知技3) 教科書:上巻 P.138～141</p> <p>-----</p> <p><b>既習事項との関連</b> 対義語について理解する。(2上「はんたいのいみのことば」)</p>	<p>●同義語や類義語について理解することができる。</p> <p>-----</p> <p>1 同義語や類義語について理解することを知り、学習の見通しを持つ。 2 教科書 P.138 を読み、似た意味の言葉を集めて短文を作る。 3 教科書 P.139 を読み、似た意味の言葉でも違いがあることを知り、意味に違いがある言葉の組み合わせを探して短文を作る。 4 学習を振り返り、「ことばあつめ」に取り組む。</p>	<p>【知・技】 ◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。(1)オ</p> <p>【主】 ・言葉には意味による語句のまとまりがあることを進んで理解し、学習課題に沿って、同義語や類義語の語句の違いについて考えようとしている。</p>	
10	<p>絵を見てお話を書こう</p> <p>10時間(書10) 教科書:上巻 P.142～147</p> <p>【言葉の力】 つながりを考えてお話を書く</p> <p>-----</p> <p><b>既習事項との関連</b> 人物を考えてお話を書く。(1下「おはなしをかこう」)</p>	<p>●内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫して、簡単な物語を書こうとしている。 ◇簡単な物語を書く。B(2)ウ</p> <p>-----</p> <p><b>つかむ</b> 1 これまでの学習を振り返り、つながりを考えて物語を書くという単元の学習課題を明確にし、学習の見通しを持つ。</p> <p><b>取り組む</b> 2 教科書の絵やお話から、登場人物や場面の様子について、分かったことや想像したことを話し合う。 3 ①②④の情報をもとに、③の場面で起こった出来事を考えてお話を書く。 4 書いたお話の発表会を開き、楽しいと思ったところやおもしろいと思ったところを伝え合う。</p> <p><b>振り返る</b> 5 どのようにつながりを考えてお話を書いたかを確かめ、単元の学習を振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ・長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。(1)ウ</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。B(1)イ ◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。B(1)オ</p> <p>【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、進んで内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫して、学習課題に沿って、物語を書こうとしている。</p>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
10	<p>どうぶつのみつをさがろう ビーバーの大工事 ・本でしらべよう</p> <p>15時間(読9書6) 教科書:下巻 P.8～25</p> <p>【言葉の力】 知りたいことを本でしらべる</p> <hr/> <p><b>既習事項との関連</b> 説明の順序に気をつけて読む。(2上「たんぼぼ」)</p>	<p>●動物について書かれた本や文章などを読み、文章の中の重要な語や文を考えて選び出し、分かったことなどを紹介することができる。</p> <p>◇動物について書かれた本や文章などを読み、分かったことなどを紹介する。C(2)ウ</p> <hr/> <p><b>つかむ</b></p> <p>1 これまでの学習を振り返り、動物について書かれた本や文章などを読み、分かったことを紹介するという学習課題を明確にし、学習の見通しを持つ。</p> <p><b>取り組む</b></p> <p>2 書かれている内容と順序に気をつけて「ビーバーの大工事」を読む。</p> <p>3 ビーバーやほかの動物について調べること決めて、動物に関する本を読んで知りたいことを調べ、調べたことをまとめて紹介する。</p> <p><b>振り返る</b></p> <p>4 知りたいことをどうやって本で調べたかを確認、単元の学習を振り返り、身に付けた「言葉の力」を確認する。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</li> </ul> <p>【思・判・表】</p> <p>◎「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。C(1)ウ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。C(1)カ</li> <li>・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ</li> </ul> <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで文章の中の重要な語や文を考えて選び出し、動物について書かれた本や文章などを読み、分かったことなどを紹介しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科での調べ学習で知りたいことを本から調べるときに生かす。</li> </ul>
10	<p>主語とじゅつ語</p> <p>3時間(知技3) 教科書:下巻 P.26～27</p> <hr/> <p><b>既習事項との関連</b> 言葉を集めて文を作る。(1下「ことばをあつめよう」)</p>	<p>●主語と述語の働きを理解し、適切な係り受けの関係に気付くことができる。</p> <hr/> <p>1 主語と述語がどのようなものであるかを押さえ、学習課題を明確にする。</p> <p>2 さまざまな文を使って、主語と述語の関係を確かめる。</p> <p>3 短い文を作り、主語と述語の関係を確かめる。</p> <p>4 主語と述語の関係について、これからの学習に生かしていく点を押さえ、学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】</p> <p>◎文の中における主語と述語との関係に気付いている。(1)カ</p> <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで主語と述語の関係を理解し、学習課題に沿って、さまざまな文の主語と述語の関係を確かめようとしている。</li> </ul>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
11	<p>あそび方をせつ明しよう</p> <p>7時間(書7) 教科書:下巻 P.28～33</p> <p>【言葉の力】 せつ明する文しょうを書く</p> <p>-----</p> <p><b>既習事項との関連</b> 順序に気をつけて説明する。(2上「ことばで絵をつたえよう」)</p>	<p>●説明する文章を書き、読み返したり友達と読み合ったりして、間違いを正したり語と語や文と文との続き方を確かめることができる。</p> <p>◇説明する文章を書く。</p> <p>-----</p> <p><b>つかむ</b></p> <p>1 これまでの学習を想起するとともに、手作りおもちゃの遊び方を説明する文章を書くという学習課題を明確にし、学習の見通しを持つ。</p> <p><b>取り組む</b></p> <p>2 手作りおもちゃの遊び方を伝えるには、どんなことを、どのような順序で説明すればよいかを考える。</p> <p>3 手作りおもちゃの遊び方を説明する文章を書く。</p> <p>4 書いた文章を読み返し、分かりやすく書けているか確かめ、友達と文章を読み合ったり、1年生に読んでもらったりする。</p> <p><b>振り返る</b></p> <p>5 分かりやすい文章を書くために気を付けたことを確かめ、単元の学習を振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っていると同時に、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ</li> </ul> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。B(1)イ</li> <li>・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ</li> </ul> <p>◎「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。B(1)エ</p> <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで文章を読み返して、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしながら、説明する文章を書こうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科でのおもちゃを作って遊ぶ活動のときに生かす。</li> </ul>
11	<p>たからものをしょうかいしよう</p> <p>7時間(話聞7) 教科書:下巻 P.34～39</p> <p>【言葉の力】 しょうかいしたいことがつたわるように話す</p> <p>-----</p> <p><b>既習事項との関連</b> 組み立てを考えて書く。(2上「こんなことをしているよ」)</p>	<p>●話す事柄の順序を考えて、紹介したいことが聞き手に伝わるように話すことができる。</p> <p>◇自分の宝物を紹介する。A(2)ア</p> <p>-----</p> <p><b>つかむ</b></p> <p>1 自分の宝物について振り返るとともに、学習課題を明確にし、学習の見通しを持つ。</p> <p><b>取り組む</b></p> <p>2 話の組み立てに気を付けて、みんなの前で話すことを考える。</p> <p>3 二人組で話す練習をしてよかった点や分かりやすかった点を伝え合う。</p> <p>4 声の大きさや話す速さに気を付けて、みんなの前で話す。</p> <p><b>振り返る</b></p> <p>5 どんなことに気を付けて話したかを確かめ、単元の学習を振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ</li> </ul> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。A(1)ア</li> </ul> <p>◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。A(1)イ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。A(1)ウ</li> </ul> <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで話す事柄の順序を考えて自分の宝物を紹介しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他教科等での学習発表や日常のスピーチのときに生かす。</li> </ul>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
11	<p>なかまになることば ことばあつめ</p> <p>3時間(知技3) 教科書:下巻 P.40～43</p> <p>-----</p> <p><b>既習事項との関連</b> 仲間になる言葉や、それらをまとめて呼ぶ言葉について理解する。(1下「まとめてよぶことば」)</p>	<p>●仲間になる言葉に関心を持ち、言葉を集めたり分類したりすることができる。</p> <p>-----</p> <p>1 仲間になる言葉とはどのようなものかを押さえ、学習課題を明確にする。</p> <p>2 教科や色、形など、身の回りの言葉から仲間になる言葉を集めて分類する。</p> <p>3 仲間になる言葉を使って文を作り、学習を振り返る。</p>	<p><b>【知・技】</b> ◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。(1)オ</p> <p><b>【主】</b> ・仲間になる言葉に関心を持ち、学習課題に沿って、進んで言葉を集めたり分類したりしようとしている。</p>	
11	<p>同じところ、ちがうところ</p> <p>5時間(書5) 教科書:下巻 P.44～47</p> <p><b>【言葉の力】</b> くらべて分かったことを書く</p> <p>-----</p> <p><b>既習事項との関連</b> 観察して気づいたことを書く。(2上「かんさつしたことを書こう」)</p>	<p>●二つの物を比べて同じところと違うところを見つけ、それらが明確に分かるように文章に書き表すことができる。</p> <p>◇説明する文章を書く。</p> <p>-----</p> <p><b>つかむ</b> 1 既習事項を振り返るとともに、二つの物を比較して同じところと違うところを見つけ、分かったことを文章にするという単元の学習課題を明確にし、学習の見通しを持つ。</p> <p><b>取り組む</b> 2 比べる物と比べる観点を決めて、二つの物を比べる。</p> <p>3 比べて分かったことを整理した文章の書き方を考える。</p> <p>4 比べて分かったことを整理して文章を書く。</p> <p><b>振り返る</b> 5 観点を決めて比べたり、気付いたことを整理して書いたりすることの良さを伝え合いながら単元の学習を振り返り、身に付けた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p><b>【知・技】</b> ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p><b>【思・判・表】</b> ◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。B(1)イ</p> <p>・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ</p> <p><b>【主】</b> ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで二つの物を観点を決めて比較して書くために必要な事柄を集めたり確かめたりして、分かったことを説明する文章を書こうとしている。</p>	<p>・算数科で表を用いて情報を比較したり整理したりするときに生かす。</p>
11	<p>読んだかんそうをつたえ 合おう お手紙</p> <p>12時間(読9書3) 教科書:下巻 P.48～63</p> <p><b>【言葉の力】</b> 自分とくらべて読む</p> <p>-----</p> <p><b>既習事項との関連</b> そうぞうを広げて読む。(2上「ニャーゴ」)</p>	<p>●物語の登場人物と自分とを比較し、物語を読んだ感想を深めることができる。</p> <p>◇物語を読んだ感想を伝え合う。C(2)イ</p> <p>-----</p> <p><b>つかむ</b> 1 学習経験や読書経験を振り返るとともに、物語を読んで友達と感想を伝え合うという学習課題を明確にし、学習の見通しを持つ。</p> <p><b>取り組む</b> 2 「お手紙」を読み、物語の中で起こった出来事を確かめるとともに、登場人物の気持ちを自分の気持ちと比べて想像する。</p> <p>3 想像したことをもとに、物語を読んだ感想を伝え合う。</p> <p><b>振り返る</b> 4 自らの感想の変化を確かめるとともに、単元の学習を振り返り、身に付けた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p><b>【知・技】</b> ・文の中における主語と述語との関係に気付いている。(1)カ</p> <p><b>【思・判・表】</b> ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。C(1)エ</p> <p>◎「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想を持っている。C(1)オ</p> <p>・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ</p> <p><b>【主】</b> ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで物語の人物の気持ちについて想像を広げ、物語を読んで感想を持つようとしている。</p>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
12	おくりがなに気をつけよう  3時間(知技3) 教科書:下巻 P.64～65	●送り仮名の役割を理解し、漢字を正しく書いたり読んだりすることができる。  1 送り仮名の意味と役割を確かめ、学習課題を明確にする。 2 教科書 P.65 の漢字の送り仮名を確かめる。 3 既習の漢字から、送り仮名が複数あるもの を確かめ、短文を作る。 4 学習を振り返り、これからの学習に生か していける点を押さえる。	【知・技】 ◎前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(1)エ 【主】 ・進んで送り仮名の役割を理解し、正しく漢字を書いたり読んだりしようとしている。	
12	「ありがとう」をつたえよう  5時間(書5) 教科書:下巻 P.66～71  【言葉の力】 手紙を書く  既習事項との関連 生活の中から伝えたい出来事を見つけ、組み立てを考えて書く。(2上「こんなことをしているよ」)	●感謝の気持ちを相手に伝えるために必要なことを考え、言葉の使い方や間違いに気をつけて、手紙を書くことができる。 ◇手紙を書く。B(2)イ  つかむ 1 「ありがとう」の気持ちを伝えたい人に手紙を書くという学習課題を明確にし、学習の見通しを持つ。  取り組む 2 「ありがとう」の気持ちが伝わるように手紙を書く。 3 書いた手紙を声に出して読み返し、相手の名前と自分の名前、感謝していることを具体的に書いてあるか、文末表現や文字の間違い、言葉の使い方に誤りがないかを確かめる。  振り返る 4 気持ちを伝えるためにどのようなことを手紙に書いたかを振り返り、身に付けた「言葉の力」を確かめる。	【知・技】 ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使っていると同時に、敬体で書かれた文章に慣れている。(1)キ 【思・判・表】 ◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。B(1)エ 【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで感謝の気持ちが伝わるように書く事柄を選んで、手紙を書こうとしている。	・生活科でお世話になった人にお礼の手紙を書くときに生かす。 ・日常生活の中で手紙を書くときに生かす。
12	どんな本を読んだかな  6時間(読6) 教科書:下巻 P.72～75  【言葉の力】 いろいろな本を楽しむ  既習事項との関連 お話を楽しむ。(1下「すきなおはなしはなにかな」)	●これまでに読んだ本について友達と伝え合い、おもしろかったところを友達と共有することができる。 ◇これまでに読んだ本を振り返り、おもしろかったところなどを友達と伝え合う。  つかむ 1 これまでに読んだ本を振り返り、学習課題を明確にし、学習の見通しを持つ。  取り組む 2 読んだ本を思い出し、伝える本を一冊決める。 3 教科書の例を参考に、読書カードを書く。 4 読書カードをもとに、読んだ本について伝え合う。  振り返る 5 友達が読んだ本の中でどんな本を読みたくなったかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめる。	【知・技】 ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ 【思・判・表】 ◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。C(1)カ 【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って進んで本を読んでおもしろいと感じたことを友達と共有しようとしている。	・生活の中の読書に生かす。 ・他教科等の学習で、図書を活用した学習を行う際に生かす。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
1	むかし話をしようかいしよ う かさこじぞう  14時間(読10書4) 教科書:下巻 P.78～95  【言葉の力】 お話のはじまりとおわりをくら べる	●昔話を読み、おもしろいと思ったところを友 達と伝え合い、共有することができる。 ◇昔話を読み、感想を伝え合う。C(2)イ  ~~~~~ <b>つかむ</b> 1 学習経験や読書経験を振り返るとともに、 昔話を読んで感想を伝え合うという学習 課題を明確にし、学習の見通しを持つ。 <b>取り組む</b> 2 「かさこじぞう」を読み、物語の中で起こっ た出来事を確かめる。 3 「かさこじぞう」の始まりの部分と終わりの 部分とで変化したことについて考える。 4 さまざまな昔話を読み、おもしろいところを 見つけて、友達に紹介する。 <b>振り返る</b> 5 単元の学習を通じて分かったことや気付 いたことを振り返り、身に付けた「言葉の 力」を確かめる。	【知・技】 ・昔話などの読み聞かせを聞くなどして、 我が国の伝統的な言語文化に親しん でいる。(3)ア ・読書に親しみ、いろいろな本があること を知っている。(3)エ <b>【思・判・表】</b> ・「読むこと」において、場面の様子に着 目して、登場人物の行動を具体的に想 像している。C(1)エ ◎「読むこと」において、文章を読んで感 じたことや分かったことを共有している。 C(1)カ ・「書くこと」において、文章に対する感想 を伝え合い、自分の文章の内容や表現 のよいところを見つけている。B(1)オ <b>【主】</b> ・これまでに学習したことを振り返って学 習課題を明確にし、学習の見通しを持 って、昔話の感想を友達と伝え合い、 進んで昔話を読んで感じたことを共有 しようとしている。	
1	声に出してみよう  3時間(知技3) 教科書:下巻 P.96～99	●音節(拍)と文字との関係、アクセントによる 語の意味の違いを理解し、日本語の母音と 子音の構成について気付くことができる。  ~~~~~ 1 音と文字との関係や、アクセントによる語 の意味の違いについて考えるという学習 課題を明確にする。 2 手をたたきながらいくつかの言葉を声に出 して言い、音節を確かめる。 3 教科書の例を声に出して読み、音の高さ の違いに気付く。 4 ひらがな表を見ながら、母音と子音の構 成を理解する。 5 本単元で学習した三つの内容について 振り返る。	【知・技】 ◎音節と文字との関係、アクセントによる 語の意味の違いなどに気付くとともに、 姿勢や口形、発声や発音に注意して話 している。(1)イ <b>【主】</b> ・音節と文字との関係やアクセントによる 語の意味の違いについて、進んで理解 しようとしている。	
1	おばあちゃんに聞いたよ  6時間(書6) 教科書:下巻 P.100～105  ~~~~~ <b>既習事項との関連</b> ・昔話を楽しむ。(1下「むか しばなしをたのしもう」) ・神話や伝承に親しむ。(2上 「言いつたえられているお 話を知ろう」)	●長く親しまれるさまざまな言い回しや言葉遊 びに触れることを通して、言葉の豊かさや地 域の伝統に親しむことができる。 ◇長く親しまれるさまざまな言い回しや言葉遊 びに触れる。  ~~~~~ 1 長く親しまれるさまざまな言い回しや言葉 遊びに触れ、言葉の豊かさや地域の伝統 に親しむという学習課題を明確にし、学習 の見通しを持つ。 2 「十二支」「小の月」について知り、楽し んで音読する。 3 「いろは歌」「いろはかるた」「郷土かるた」 について知り、かるた作りを楽しむ。 4 単元の学習を振り返る。	【知・技】 ◎長く親しまれている言葉遊びを通し て、言葉の豊かさに気付いている。(3)イ <b>【思・判・表】</b> ・「書くこと」において、経験したことや想 像したことなどから書くことを見つけ、必 要な事柄を集めたり確かめたりして、伝 えたいことを明確にしている。B(1)ア <b>【主】</b> ・これまでに学習したことを振り返って学 習課題を明確にし、学習の見通しを持 って、進んでかるたに書く事柄を集め たり確かめたりしながら、長く親しまれるさ まざまな言い回しや言葉遊びに触れよ うとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
2	<p>この人をしょうかいします</p> <p>10時間(書10) 教科書:下巻P.106～113</p> <p>【言葉の力】 しょうかいする文しょうを書く</p> <p>-----</p> <p><b>既習事項との関連</b> 説明する文章を書く。(2下「あそび方をせつ明しよう」)</p>	<p>●簡単な構成を考えるとともに、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫して、身の回りにいる人を友達や先生に紹介する文章を書くことができる。</p> <p>◇身の回りの人を友達や先生に紹介する文章を書く。</p> <p>-----</p> <p><b>つかむ</b></p> <p>1 これまでの学習や生活経験を振り返り、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫して紹介する文章を書くという学習課題を明確にし、学習の見通しを持つ。</p> <p><b>取り組む</b></p> <p>2 身の回りの人を振り返り、紹介する人を決める。</p> <p>3 紹介することをカードに書き出して整理し、紹介文の構成を考える。</p> <p>4 言葉や文の続き方や、伝えたいことのまとまりに気をつけ、紹介する文章を書く。</p> <p>5 書いた文章を読み合い、気づいたことや感想を伝え合う。</p> <p><b>振り返る</b></p> <p>6 文章を書く際に気を付けたことを確かめ、単元の学習を振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</li> </ul> <p>【思・判・表】</p> <p>◎「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。B(1)イ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ</li> <li>・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。B(1)オ</li> </ul> <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで簡単な構成を考えて、身の回りにいる人を友達や先生に紹介する文章を書こうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科で、身近な人を紹介する活動に生かす。</li> </ul>
2	<p>ことばを広げよう</p> <p>6時間(書6) 教科書:下巻P.114～119</p> <p>-----</p>	<p>●文や文章の内容や表現に着目し、よりよい表現について考えることができる。</p> <p>◇文や文章を読み、よりよい表現について考え、友達と伝え合う。</p> <p>-----</p> <p>1 文や文章を読み、よりよい表現について考えるという学習課題を明確にし、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 動きやすさを表す言葉を探して、文を作る。</p> <p>3 様子や気持ちを表す言葉を集めて、文を作る。</p> <p>4 文章を詳しくしたり分かりやすくしたりするために、言葉を考えて書き直す。</p> <p>5 単元の学習を振り返るとともに、今後のよりよい言葉の使い方について考える。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(1)ア</li> <li>・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使っていると、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。(1)オ</li> <li>・文の中における主語と述語との関係に気付いている。(1)カ</li> </ul> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。B(1)エ</li> <li>◎「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。B(1)オ</li> </ul> <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで文や文章の内容や表現に着目し、よりよい表現について考えようとしている。</li> </ul>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
2	<p>あなのやくわりを考えよう あなのやくわり</p> <p>12時間(読8書4) 教科書:下巻 P.120～131</p> <p>【言葉の力】 知っていることとむすびつけて読む</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 説明の文章を比べて読む。(1下「子どもをまもろうぶつたち」)</p>	<p>●文章の内容と自分の体験とを結び付けて考え、考えたことを文章にまとめることができる。 ◇文章を読んで考えたことをまとめる。C(2)ア</p> <hr/> <p>【つかむ】 1 文章の内容と自分の体験とを結び付けて考え、考えたことを文章にまとめるという学習課題を明確にし、学習の見通しを持つ。</p> <p>【取り組む】 2 「あなのやくわり」を読み、それぞれの物に穴が開いている理由や説明の仕方を確かめる。 3 身の回りにある穴を想起し、その役割を考えたり、本や資料で調べたりする。 4 考えたことを文章にまとめる。</p> <p>【振り返る】 5 知っていることと結び付けて、読んだり書いたりすることができたかを振り返り、身に付けた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(1)ア</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。C(1)ウ ◎「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想を持っている。C(1)オ ・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。B(1)イ</p> <p>【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて考え、考えたことを文章にまとめようとしている。</p>	<p>・生活科の学習などで、身近な物事を説明している本を読む。</p>
3	<p>すきな場しよを教えよう</p> <p>8時間(話聞8) 教科書:下巻 P.132～137</p> <p>【言葉の力】 つたえたいことがつたわるように話す</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 紹介したいことが伝わるように話す。(2下「たからものをしようかいしよ」)</p>	<p>●伝えたいことに必要な事柄を選び、自分が好きな場所のことを紹介して伝えることができる。 ◇伝えたいことを紹介する。A(2)ア</p> <hr/> <p>【つかむ】 1 これまでの学習を振り返り、伝えたいことに必要な事柄を選んで伝えたいことを紹介するという学習課題を明確にし、学習の見通しを持つ。</p> <p>【取り組む】 2 好きな場所について思い浮かべる。 3 好きな場所の良いところが伝わるように、話すことを考え、選ぶ。 4 声の大きさや話す速さを考えて、話す練習をする。 5 練習して気づいたことを生かして、みんなの前で話す。</p> <p>【振り返る】 6 話すときに気を付けたことを生かして、単元の学習を振り返り、身に付けた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ・姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ</p> <p>【思・判・表】 ◎「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。A(1)ア ・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。A(1)ウ</p> <p>【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、伝えたいことに必要な事柄を選んで選び、自分が好きな場所のことを紹介しようとしている。</p>	<p>・生活科の学習などで、調べたことについて伝えるときに生かす。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
3	<p>「ことばのアルバム」を作ろう</p> <p>7時間(書7) 教科書:下巻 P.138～143</p> <p>【言葉の力】 文しょうのよいところを見つける</p> <p>-----</p> <p><b>既習事項との関連</b> 書いた文章を読み返す。(1下「一年かんをふりかえろう」)</p>	<p>●自分の文章の内容や表現のよいところを見つけ、1年間で最も心に残った出来事を書き直す。</p> <p>◇1年間で書いてきた文章を読み返し、最も心に残った出来事を書き直す。</p> <p>-----</p> <p><b>つかむ</b></p> <p>1 これまでの学習を振り返り、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけ、1年間で最も心に残った出来事を書き直すという学習課題を明確にし、学習の見通しを持つ。</p> <p><b>取り組む</b></p> <p>2 1年間で書いた文章を友達と読み返し、互いの文章のよいところを見つける。</p> <p>3 1年間の中で心に残っている出来事を思い出して文章を書く。</p> <p>4 書いた文章と1年間で書いてきた文章を1冊にまとめ、「ことばのアルバム」を完成させる。</p> <p><b>振り返る</b></p> <p>5 自分や友達の文章のよいところを確かめ、単元の学習を振り返り、身に付けた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。(1)ウ</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。B(1)エ</p> <p>◎「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。B(1)オ</p> <p>【主】</p> <p>・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで自分の文章の内容や表現のよいところを見つけ、1年間で最も心に残った出来事を書き直そうとしている。</p>	<p>・生活科や他教科等の学習で書いた文章をまとめるときに生かす。</p>